

中学校 3 年生 技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

1 目標

- ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けようとする。
- ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習の進め方

【使用教科書】新しい技術・家庭（家庭分野）（東京書籍）

【副教材】家族・家庭生活 A（地域教材社）

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・「幼児の生活と家族」では、幼児の発達と生活、遊びや家族の役割を学び、幼児と触れ合う活動を通して、幼児との関わり方を工夫しよう。
- ・「これからの家族と地域」では、家族や高齢者など、地域の人々とよりよく関わり協働する方法を考えて工夫しよう。
- ・「生活の実践と課題」では、学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか、自分や家族、幼児の生活について課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践し、実践したことを発表しよう。
- ・必要な準備物をそろえ、実習に備えよう。
- ・実習では怪我をしたり事故が起きたりしないよう、安全に気を配ろう。

○家庭学習の例

- ・身近な幼児を観察したりして、学んだことを生かす機会を作ろう。
- ・よりよい家庭生活・地域のかかわりを実現するためのアイデアや実践例をレポート等にまとめよう。
- ・よりよい家庭生活や暮らしやすい地域にするために家族や地域の人々の思いに触れる機会を持とう。

○定期テストへの取組の例

- ・技能の定着を図るために、計画的・継続的な練習を重ねよう。

3 評価について

観 点		
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けたかどうかを見ます。	・課題への取り組み ・プリント、ワーク等の記述内容 ・テスト ・作品
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力が養えたかどうかを見ます。	・課題への取り組み ・プリント、ワーク等の記述内容 ・テスト
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度が養われたかどうかを見ます。	・授業への取り組み ・課題への取り組み ・プリント、ワーク等の記述内容

4 学習内容について

月	テスト	単元	評価の規準
4	1 学期 期末 テスト	■私たちの成長と家族・地域 ○幼児の生活と家族 ・ 幼い頃の振り返り	【知識・理解】 ・ 幼い頃を振り返り、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・ 幼児の体・心の発達の特徴について理解している。 ・ 幼児の発達と生活の特徴について理解している。 ・ 子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・ 幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・ 幼児との関わり方について理解している。 ・ 子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 自分や家族、幼児の衣生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・ 家族の立場から幼児との関わり方について考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 幼児の観察について、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・ 自分や家族、幼児の衣生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・ 家族の立場からの幼児との関わり方について、工夫し創造し、実践しようとしている。
5		・ 幼児の体の発達	
6		・ 幼児の心の発達	
7		・ 幼児の1日の生活	
9		・ 支えられて身に付ける生活習慣	
10		・ 幼児の生活と遊び	
11		○生活の課題と実践 ・ 幼児との関わり方の工夫	
12		・ 幼児との関わりを生活に生かす	
1		・ 子どもにとっての家族	
2		○これからの家族と地域 ・ 家族や地域の高齢者との関わり	
	2 学期 期末 テスト	・ 地域での協働を目指して	【知識・理解】 ・ 家族の互いの立場や役割について理解している。 ・ 家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・ 高齢者など地域の人々と協働する必要があることについて理解している。 ・ 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。 ・ 地域の人々と協働する必要があることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・ 地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 家族関係をよりよくする方法について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・ 地域の人々と関わり、協働する方法について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・ 家庭分野で学習したことを今後の生活に生かそうとしている。
		・ 学習を終えて ～これからの自分～	